



緊急情報、防犯・防災情報などをメールでキャッチ！

# 〈みよしまち地域コミュニティメール開始〉

イベント情報・不審者情報などすぐ知りたい情報を逃さない！

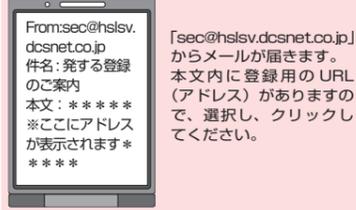
## みよしまち地域コミュニティメール登録手順

(注意) 携帯電話に迷惑メール対策設定をしている場合は「hslsv.dcsnet.co.jp」ドメインからの受信を許可する設定にしてください。

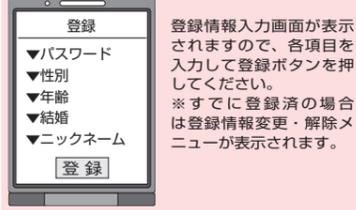
1 「member\_mo@hslsv.dcsnet.co.jp」に※空メールを送る



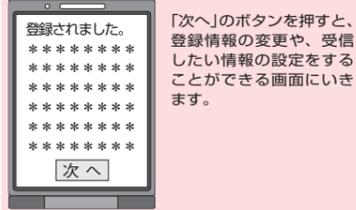
2 届いたメールの本文内のアドレスにアクセス



3 画面に従って内容を入力し「登録」ボタンを押す



4 画面のように「登録されました」が表示されたら登録完了です。



これで登録完了です。あとはメール配信されるのを待ちください。  
【登録方法のお問い合わせ】  
「NPOきずな」 ☎049-257-0021

住民の皆さんが安心して安全な暮らしをおくるため、また地域に密着した情報を発信するため、三芳町では「NPO きずな」・「発するF・M」・「東入間警察署」との協働により、ホットな情報をメールでお届けします。  
※情報を受け取るには左記の登録が必要です。

**防災・防犯**

※  
事件・事故・不審者などについて、東入間警察署、入間東部地区消防組合からの情報を配信します

**イベント情報**

町や「NPO きずな」からのイベント情報などを配信します

**防災無線**

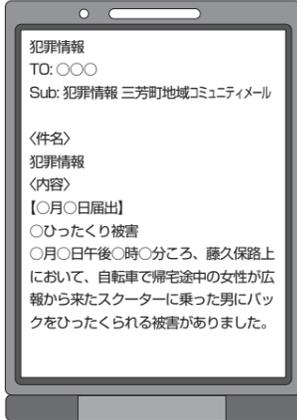
防災無線や広報車で流す情報について、同じ内容を配信します

**地域情報**

お店や企業からのお得な情報について「NPO きずな」からのお知らせを配信します

**緊急情報**

災害時または災害の発生する恐れがある場合に、災害情報等、町からのお知らせを配信します



▲メール配信イメージ

■登録されたメールアドレスは、厳正に管理し、当メールサービス以外では使用しません。  
■登録は無料ですが、登録や解除、メール受信にかかるパケット通信料や通信費は利用者負担となります。  
■緊急情報及び防災・防犯情報は、迅速性を優先しているため、情報が実災害の実態と異なる場合があります。

■問い合わせ  
地域振興課 防犯防災係  
(☎) 265.266  
FAX 274-1053  
【お知らせ】  
町のホームページとツイッターでも情報を配信しています。ぜひご覧ください。  
HP) <http://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/>  
ツイッター) [http://twitter.com/miyoshi\\_machi](http://twitter.com/miyoshi_machi)

※東入間警察署・発するF・Mとの地域安全に関する協定書に基づき、情報を配信します。

**笑顔で安心な暮らしのために**

町からの防災放送が聞こえない。子どもを守るため、近隣の犯罪情報を知りたい。町のイベントがいつ行われるか知りたい...このようなことを感じたことありませんか？

そこで「NPOきずな」「発するF・M」と協働で、皆さんにメールで地域に密着した情報をお届けします。配信情報は「緊急情報」「防犯・防災情報」は必須。その他は自由に選択でき、いつでも変更できます。

**ホームページでも地域情報を知りたい**

発するF・Mではメール配信される内容と同じものをホームページ上 (<https://hslsv.dcsnet.co.jp>) に掲載しています。メール登録せず、地域の情報を知りたいという人はぜひこちらをご覧ください。



# 絆

私たちに今できること

5月27日深夜、災害ボランティアバスパックに応募した男性19人、女性3人、計22人が小雨が降りしきる中、役場に集まりました。人のために何かできないか？自分が今できることは何か…。様々な思いを乗せてバスは被災地、宮城県東松島市へ向かいました。

## 届け明日をひらく力。築け復興への道。

災害ボランティアバスパックとは、ボランティア活動をする団体自らがボランティアを募り、バスを手配し、被災地支援に向かう活動です。被災地の災害救援ボランティアセンターの負担を軽減し、効果的な支援を目的とします。

町と社会福祉協議会では、住民ボランティアの力を被災者へ届けるため、災害ボランティアバスパックを企画。藤久保第6区からの支援金(30万4,982円)により、運営費をまかなうことができました。定員を大幅に超える応募があり、被災地に対する住民の強い思いをうかがい知ることができました。「人のために何かをしたい、困っている人を助けたい...」復興への道、明日を切り開き歩いていく希望。その手助けとなるべく、参加者は泥まみれになりながら作業を行いました。

今後ボランティアを募集する時は広報・ホームページ・ツイッター等でお知らせします。問い合わせ  
社会福祉協議会 ☎258)0122  
福祉課福祉係 (☎) (172)5173  
FAX (274) 1051

※5月14日、町長を含めた町職員有志22人が宮城県石巻市で、ボランティア活動を行いました。

### VOICE ボランティア参加者の声



みかみしょうた  
三上 翔太さん (20)

北永井在住の大学3年生。生まれも育ちも三芳町。ボランティア参加は初めて。体力に自信あり。

涙ぐみながら感謝された  
こんな経験は今までなかった

ニュースで被災地の被害を見て、「お金の支援は難しいけれど、体を動かすことならば、自分も被災者の力になれる」と思い参加しました。現地ではヘドロと瓦礫の撤去作業をしました。数時間の作業でしたが、お手伝いしたお宅のおばあちゃんが、涙ぐみながら「ありがとう」と言ってくれました。その表情が今も心に焼き付いています。

被災者の人たちは明るく、温かい人ばかりで、復興に向けて前向きでした。機会があれば、またボランティアに参加し復興の力になりたいと思います。



ほんま ゆきこ  
本間 夕貴子さん (30)

藤久保在住。現在は看護師を目指し専門学校へ。パラグアイに農業ボランティアで派遣経験有。

すれ違う人たちみんな  
会釈をしてくれた

お手伝いしたお宅の人が、私たちが気遣って、まちの様々をたくさん話してくれました。「このまちが好きだ」「もう一度この地に住むんだ」という強い気持ちが伝わり、たのしかったです。震災の影響で電車の代わりにバスが走っていました。乗車している人たちは被災者の人たちだと思うのですが、私たちを見て会釈やお辞儀を丁寧にしてくれるのです。私たちが本当に温かく受け入れてくれて、人と人の絆を強く感じました。

現地で感じたことを周りの人たちに伝えていくこと。それが使命だと思っています。



かずまた たもつ  
数馬田 惟さん (74)

みよし台在住。参加者最年長。過去に町の発掘ボランティアに参加。豊富な経験を今回に活かす。

被災地のひとたちの痛みが  
自分のことのように伝わった

74歳ということで、作業の足手まといになるのではないかとおぼやかしかったです。しかし、連日流れる被災地の凄惨な状況を目の当たりにし、現地に行って何かしなければ...と強く思い、参加しました。

今までは遠いところでの出来事だと思っていましたが、ボランティアに参加したことで、被災地の人たちのご苦労を肌で感じ、とても人ごとには思えなくなりました。

被災地を見るたび、お手伝いしたお宅のことを思い出します。これからも継続した支援が必要だと思いました。